

事業名	ファミリー・サポート・センター事業
-----	-------------------

総事業費	235 千円
------	-------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図			安心して働くことができる。 育児の不安感を解消することができる。
事業の実績 と 成果	取組内容	地域において「育児」の援助を行う者と援助を依頼する者が行う相互援助活動を支援する。	
	成 果	援助を必要としている方が安心して利用できる制度として定着しつつあり、送迎等の援助活動が多かった。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	安心して預けられるという声が寄せられる一方、援助を行う方については、他人の子どもを預かることへの抵抗感から会員登録が進まない状況がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	利用者からは制度を評価する声があり成果を得ていると思われる。今後、まかせて会員の増加とマッチングを高めていく必要があると思われる。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	地域において「育児」の援助を行う者と援助を依頼する者が行う相互援助活動を支援することにより、子育てする者が仕事と子育てを両立し、安心して働くことができる環境を整備するとともに、地域の子育て機能の強化に向けた支援体制づくりを図る。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	子育て支援センター事業
-----	-------------

総事業費	7,704 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		気軽に相談できる場を提供することにより、育児不安等を解消する。 集いの場や親子のふれあい遊びを提供する。
事業の実績 と 成果	取組内容	子育て相談員2名を配置し、子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援などを実施することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
	成 果	少子化・核家族化の進行や、また、地元で親族がいない転入者等、育児不安や支援を必要とする家庭からの相談件数が増加傾向にある。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	子育て支援センター内の業務については、移設に関する協議も含め、環境改善の検討が必要。ほかに、療育支援に係る事業について子育て支援センターの関わり方を関係課と再検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	気軽に相談できる場を提供することにより、育児不安等を解消するとともに、集いの場や親子のふれあい遊びを提供することができ、リピーターも増えてきている。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	地域全体で子育てを支援する基盤の強化を図るため、子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援などを実施することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	放課後児童健全育成事業
-----	-------------

総事業費	31,279 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図	児童を健全に育成するとともに、児童が放課後、安心して過ごせる場所を提供することにより、保護者が安心して仕事ができる。	
事業の実績と成果	取組内容	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校児童の放課後の安全確保と遊び及び生活の場の提供のため、放課後児童クラブを運営している法人等へ委託し、これらの児童を健全に育成する。
	成果	市内7か所で児童クラブが開所され、保護者が安心して仕事ができる環境が整っている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	市街地に開設している児童クラブは、希望者が多く、大字の児童クラブは登録数が20名を下回るところが多い。 31年度は、国上児童クラブの開所場所変更予定。また、今後、榕城児童クラブの移転について関係各課と協議を行う。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	当該事業の実施により、児童を健全に育成するとともに、児童が放課後、安心して過ごせる場所を提供することにより、保護者が安心して仕事ができる環境が提供されている。 中長期的なスパンにおいては、人口の減少により、クラブの運営形態について検討する必要性が生じてくると思われる。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校児童の放課後の安全確保を前提とし、2名の指導員の下、遊び及び生活の場を与え、これらの児童を健全に育成する（児童クラブ数：7カ所）。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	【平成30年度中の延べ利用者数の推移】 年度当初は利用者が多く、夏季休暇中は少なくなり、3月にはまた増加傾向にある。

事業名	一時預かり事業
-----	---------

総事業費	8,238 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		保護者の育児に関する不安を解消し、安心して社会参加、治療、就労等に専念できるようにする。
事業の実績 と 成果	取組内容	保育所を利用していない家庭において、保護者の社会参加や疾病等により、一時的に家庭での保育が困難となった場合保育所や認定こども園等において一時的に保育を受ける。この事業に対し、補助金を交付する。
	成 果	就学前児童数は減少傾向にあるが、一時預かり事業に対するニーズは高く、幼稚園型（認定こども園・幼稚園）の利用実績は増加している。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	現在補助を受けて実施しているところは、認定こども園2園、幼稚園1園と保育所2か所である。保育所では自主事業で実施しているところもあるが、保育士の配置が困難であるため補助対象となっていない。保育所については、入所児童の空きがないと受入出来ないため、利用児童数が減少傾向にある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	保護者の社会参加、疾病等により家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児等の受け皿として複層的な整備が必要であるが、その一つとして同事業はニーズの高まりを示している。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	保育所では、保育士の配置が困難で、利用者が減少傾向にあるものの、一時預かり事業に対するニーズは高く、特に幼稚園型（認定こども園・幼稚園）の利用実績は増加している。補助単価も毎年増額されているので、国の動向等を見ながら補助金を交付し、事業運営の安定を図る。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	保育所等整備交付金事業
-----	-------------

総事業費	4,477 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		安心して教育・保育を提供することができる。
事業の実績 と 成果	取組内容	県の安心子ども基金を活用し、現和みどり保育園において、台風により雨漏りがあった屋根の防水と乳児用トイレの洋式化を行った。
	成 果	屋根防水とトイレ改修により、安心して衛生的な環境により、保育の提供を行うことができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	市内の各保育所等施設は老朽化が進み、安心して教育・保育を行うため、計画的に施設整備等を行い、環境を改善する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	インフラの老朽化問題は、保育所等の施設においても課題となっている。計画的な整備を図りながら延命・更新し、今後も安心・安全な施設の維持に努めていく必要がある。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	保育所等の施設において、計画的な整備を図っていく。
-----------	---------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 	鹿児島県安心子ども基金総合対策事業費補助金（1/2）を活用し、現和みどり保育園の屋根防水補修及び乳児用トイレの改修事業を実施。市から補助金として事業費の3/4を支給した。

事業名	児童館管理事業
-----	---------

総事業費	19,710 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		児童及び母親クラブ等が遊びや地域組織活動の場として利用できる。
事業の実績 と 成果	取組内容	かもめ児童館・美浜児童センターにおいて、指導者2名をおき、児童及び母親クラブ等に遊びや地域組織活動の場を提供している。
	成 果	少子化が進み、児童生徒数が著しく減少する中、利用者数を維持し、安心して遊べる場所として定着している。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	児童の特性や問題行動に対して指導者の負担も増大している。環境整備も含め施設利用等について、指定管理者と定期的な協議をしていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	少子化に加え、課外活動や放課後児童クラブなど子どもたちの受け皿が増えたことで、児童館の利用者数は減少傾向にあるが、児童及び母親クラブ等が遊びや地域組織活動に利用できる場として定着している。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	かもめ児童館・美浜児童センターにおいて、指導者2名をおき、子ども達に適切な遊びの指導を行うとともに、環境整備も進めながら、異年齢の子供たちが安心して活動できる場所として提供していく。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	かもめ児童館、美浜児童センターへ、それぞれ2基の空調を設置し、防球ガードの取付も行った。